

全国ESDコンソーシアム/ステークホルダー円卓会議2025

2025年2月22日(土)9:30~17:00

奈良教育大学(奈良市)

信州ESDコンソーシアムの 活動について

信州大学教育学部
附属志賀自然教育研究施設
水谷 瑞希

長野県における背景

- ・豊かな自然環境を活かした自然体験学習や環境教育、地域学習
- ・先駆的な探究型総合学習の実践
- ・ESDやユネスコスクールの普及は低調
- ・県内でESDを普及・推進するためにコンソーシアムを構築



ユネスコエコパーク

- ・生物圏保存地域 (BR)
- ・自然と人間社会との共生のモデル地区
- ・ESDの場として好適、相乗効果が期待
- ・「持続可能な開発について学ぶ場所」



志賀高原ユネスコエコパークとESD

- 移行地域の**すべての学校がユネスコスクール**に加盟
- 観光協会・ガイド組合による環境教育プログラム提供など**多様なステークホルダー**によるESD実践が展開
- **他地域のユネスコスクール**が校外学習等で訪問



教職員研修

- ・全ての教員を対象に、教育にESDの視点を取り入れるための実践的な**学校出前研修**
- ・教育委員会等との連携によるESD普及・推進を目的とした研修



教員・指導者養成

- ・教育学部**必修**科目「環境教育」等でESDを取り上げ、その実践に取り組むことができる教員・人材を養成
- ・**教職員研修やイベントと連携**した授業（学部・大学院）



国際交流・発信

- ・ BRを活用したESDの実践事例を発信
- ・ 海外視察の受け入れ



信州の環境と知に根ざしたESDコンソーシアムの形成

信州ESDコンソーシアム

「成果発表&交流会」の開催

- ・ 全国BR地域、県内ユネスコスクール等でESDで学ぶ子どもたちが学習成果を発表しあい、学びあうイベント
- ・ 対面開催から**オンライン開催**に移行して**全国イベント**に
- ・ R6年度は発表31団体、同接1673。英語使用の国際枠も設定し、カンボジア、中国、台湾からも参加。



文部科学省
MEXT
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY

令和6年度SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業

令和6年度

信州ESD/SDGs 成果発表&交流会

～ユネスコエコパークと共に学ぼう～

ESD (Education for Sustainable Development) は、これから目指すべき持続可能な社会の創り手を育む教育です。現在の学習指導要領全体の基盤となる理念として、またSDGs (持続可能な開発目標) 達成の鍵として、注目が集まるESD。この成果発表&交流会では、各校でESDの学びを実践している子どもたちが、学びの成果を発表し、また交流を通じてその学びを深めます。長野県内だけでなく各地のユネスコエコパークでESDを実践している学校もオンラインでつながることで、様々な分野での発表から学びの広がりが期待されます。

令和7年 (2025年) **2月2日(日)・2月3日(月)**

〈午前の部〉10:00～12:15 | オンライン開催
〈午後の部〉13:30～15:40 | 同時YouTube
ライブ配信

午前の部		午後の部	
10:00～10:10	開会行事	13:30～15:00	発表・交流会
10:15～11:40	発表・交流会	15:00～15:10	講評
11:40～11:50	講評	15:15～15:30	全体共有の時間
11:55～12:15	全体共有の時間	15:30～15:40	閉会行事

○国際交流会場は2月3日(月)の午後の部となります ○各会場の発表数は4～5グループを予定しています
○グループの発表時間は10分です ○プログラムは参加校や進行の状況により変更することがあります

※詳しくは、実施要項をご覧ください

実践事例の発信

- ・「成果発表&交流会」で発表された実践事例をデータベース化、Webサイトで公開（実践記録、動画（一部）、感想）
- ・一部は英語化
- ・冊子を作成して全国BRの教育関係者に配布



今後の活動

- ・ 県内でのESD/SDGsの推進
 - 普及から深化へ
- ・ BRでのESD/SDGsの推進
 - 国内外との連携強化
- ・ 持続可能な地域づくりへの貢献
 - 成果の検証とさらなる発展



「成果発表＆交流会」の様子は
こちらからご覧ください。